

令和 7 年度授業改善推進プラン

教科名

技術

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	・カリキュラムの進行管理 ・手作業技能の習得 ・評価と活用	○・班員相互の協働・協力によって進度を合わせるようにする。 ・カリキュラムの配置を工夫し、工作実習を早く完了させる。その後、振り返りにより理論を深める。 ○・各工具の最適な使用の仕方を理解させて、効率よく進められるようにする。それにより、技能向上をねらう。 ・材料と加工の内容において、製作した製品について家庭で使用する、関する評価と活用に重点を置く。
2 年	・電気教材の選定 ・評価と活用	○・教材の値上がりにより、価格が安く学習材として適切な教材の選定を行う。 ○・エネルギー変換に関する評価と活用に重点をどのように置く。
3 年	・明確な評価基準の提示 ・栽培計画の工夫 ・計測、制御の支援の工夫 ・評価と活用	○・生徒に分かりやすい配点に換算し、家庭科との合計を観点別評価それぞれについて 50 点 + 50 点の 100 点満点とした。 ○・自然相手であり、隔週であるため同一週に種まきができるよう時間割変更を行う。 ○・計測、制御で使用するプログラムの考え方や作成方法が理解しやすいワークシートの工夫を行う。 ・プログラムによる計測・制御に関する評価と活用に重点をどのように置く。

○すぐに取り組むこと